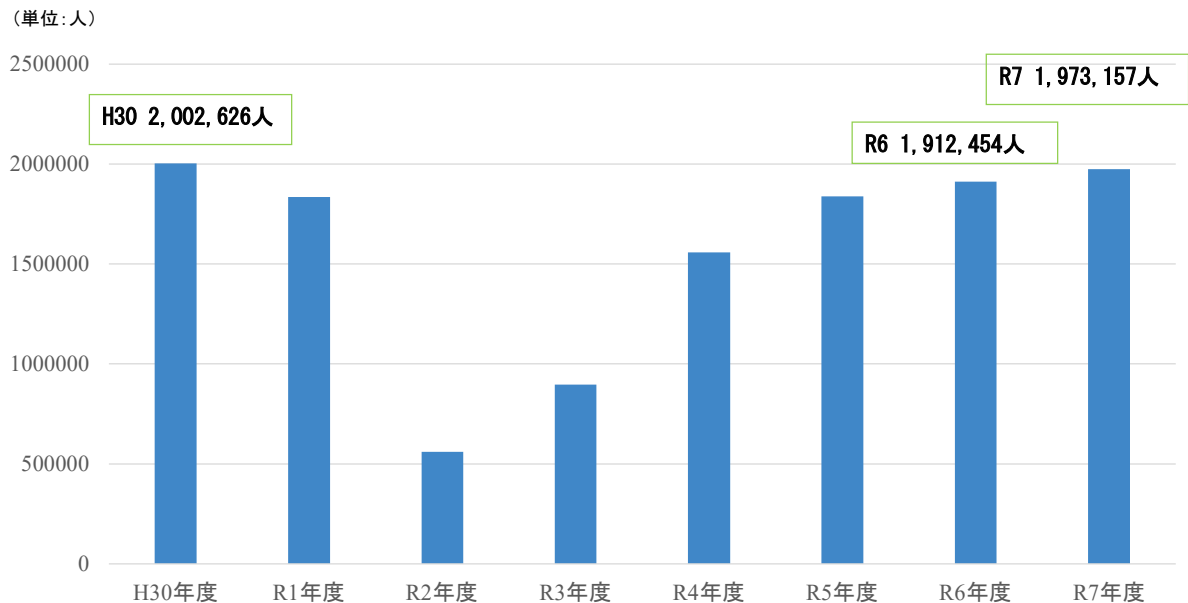


令和7年度事業報告について

○利用者数の推移

前年度に比べて約6万1千人増え、約197万人(前年度比103.2%)となった。
コロナ禍前の平成30年度の200万人と同水準(約99%)まで回復してきている。

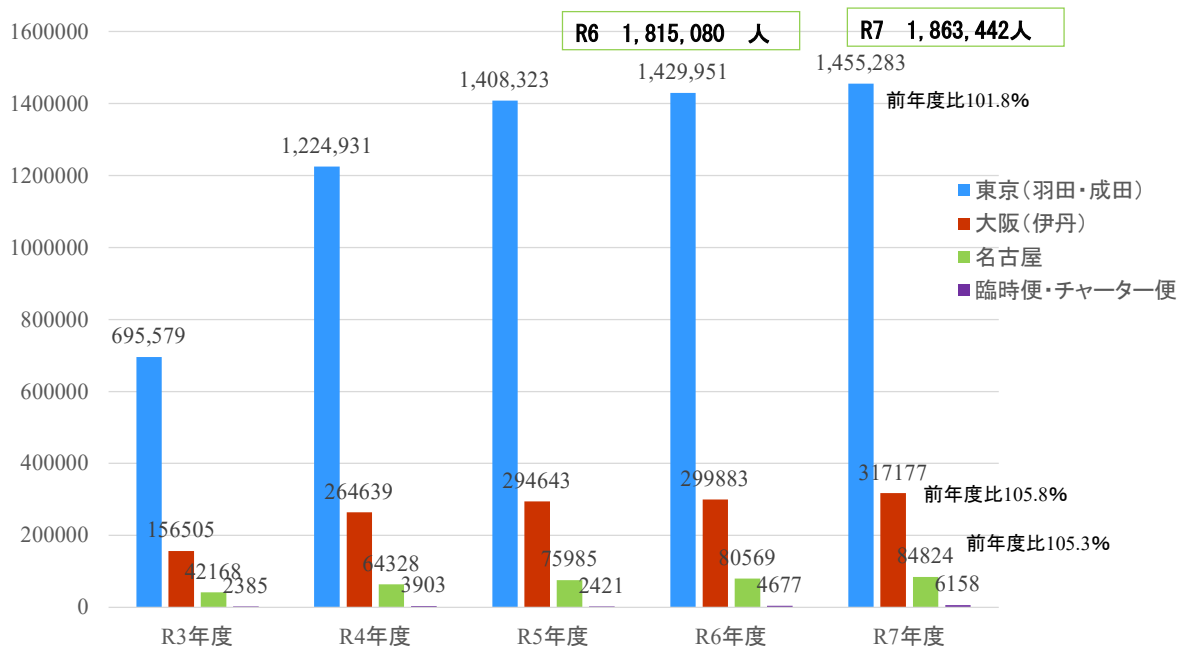


航空ネットワークの維持・拡充

〔国内線〕

国内線の利用者数は、前年度比103%の186万人となった。
課題であった東京路線も着実に利用が戻ってきている。
観光利用の割合が高い大阪、名古屋路線はコロナ禍前を上回っている。

(単位:人)



R6年度の動き

〔成田線〕
●ピーチ R6.10～運休
〔沖縄線〕(宮古島)
ソラシドエアチャーター1回

R7年度の動き

〔伊丹線〕
●IBEXエアラインズ
R7.10～1便減
●ANA
R7.10～1増便

航空ネットワークの維持・拡充

◆国内線の拡充

大分県の魅力情報の発信と利用促進策の強化に加え、航空需要の創出を図った。

(1) 航空会社と連携した情報発信・利用促進

【日本航空(JAL)】

- 「ふるさと応援割」の大分ツアー専用ページを作成し、地域の情報発信を実施。併せて、上記ページからJALダイナミックパッケージを申込んだ方に、旅行代金の割引を行い、旅行需要の喚起及び送客促進につなげた。



<発信例>



航空ネットワークの維持・拡充

【全日本空輸(ANA)】

- 大分空港でイベントを行い、大分空港及び航空機利用の魅力を発信した(R8.1.24)。また公式SNSによる発信を行った。



<SNSによる大分県観光の情報発信>

<ANAチーム羽田オーケストラによるライブ・トークショー>

航空ネットワークの維持・拡充

【ソラシドエア(SNA)】

➤旅行商品販売サイト「エアトリ」で、新たに大分ならではの特典を付与した商品を作成・販売し、誘客を図った。



＜旅行商品販売サイト「エアトリ」＞



航空ネットワークの維持・拡充

【IBEXエアラインズ(IBX)】

➤愛知県のタウン情報誌とのタイアップによる誌面掲載を行い、大分の旅行ルートの紹介を通して、誘客促進を図った。(R8.3)



＜タウン情報誌「KELLY」誌面＞

航空ネットワークの維持・拡充

【ジェットスター・ジャパン(JJP)】

- オンライン広告を利用し、大分線の利用を促進した。
- 三者連携協定(大分県、大分大学、JJP)に基づく講座を開講した。
R8.2.19の報告会では、現在の大分空港の状況を分析し、アウトバウンド促進施策等のプレゼンテーションを実施した。

<広告>



<講義の様子>



<プレゼンテーションの様子>



航空ネットワークの維持・拡充

(2) 航空需要の創出

【乗継利用促進キャンペーン】

- 未就航地域(北海道)との乗継利用を促進するため、キャンペーンを実施
(期間:R8.2.1~3.16)
- 新規就航へ向けた航空需要喚起を図った。

【祝祭の広場での空港利用促進イベント】

- R8.3.6に祝祭の広場(大分市)で、大分空港の利用促進を目指し航空会社や自治体ブースを出展
- 物販や抽選会を通し、航空業界や大分空港の魅力を発信した。

<乗継促進キャンペーン>



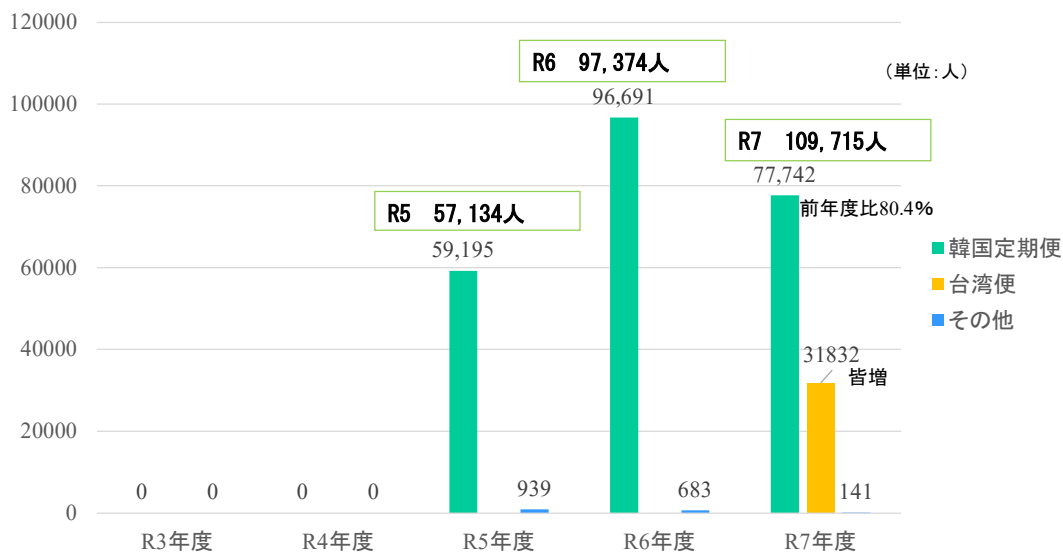
<空港利用促進イベントの様子>



1 航空ネットワークの維持・拡充

[国際線]

国際線は、ソウル線(韓国)に加え、台北線(台湾)が令和7年4月に新規就航したことで、前年度からの利用者数が増え、総数で約11万人の利用となった。



R5年度の動き

【ソウル線】
●チェジュ航空 (R5.6就航)
R5.6～週3便、R6.1～週5便
●大韓航空 季節運航R6.1～3
【台北線】
●チャイナエアライン チャーター運航2往復

R6年度の動き

【ソウル線】
●チェジュ航空
R6.4～週5便、R6.10～毎日運行
R7.3～週3便

R7年度の動き

【ソウル線】
チェジュ航空
R7.3～週3便、R7.10～毎日運行
R8.3～週3便
【台北線】
●タイガーエア台湾 (R7.4就航) 通年週2便

航空ネットワークの維持・拡充

◆国際線の拡充

定期便や連続チャーター便の安定的な運航に向け、運航費用の軽減支援や搭乗率の向上に向けた利用促進策を実施した。

(1) 路線の維持・拡充

① 定期便

【韓国】

➤ チェジュ航空

R5.6.22～就航、R6.1.12～週5便運航、R6.10.27～週7便(デیلیー)運航
R7.3.30～週3便運航(火・木・土)
R7.10.26～週7便(デیلیー)運航



<チラシの作成によるPR>

航空ネットワークの維持・拡充

②連続チャーター便

【台湾】

➢タイガーエア台湾

R7.4.2～就航。週2便運航(水・土)



＜チラシの作成によるPR＞



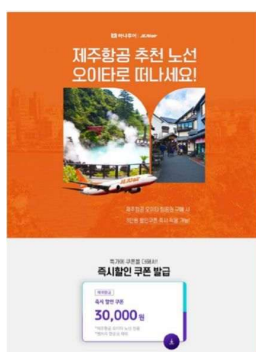
＜台湾就航セレモニーの様子＞

航空ネットワークの維持・拡充

(2)利用促進

【インバウンド対策】

＜搭乗率の向上に向け、航空会社と連携し、インバウンド向けにPR＞



【アウトバウンド対策】

＜大分駅デジタルサイネージ広告＞



＜台北線就航のPR＞



航空ネットワークの維持・拡充

(3)人材確保

- 新規就航等における応援派遣職員の給料を助成
- 国際線運航に必要な空港人材確保に向けた見学会を開催(R8.2.25)

<チラシデザイン>



<グループ別説明の様子>



<個別相談の様子>



●実施日: 令和8年2月25日(水)

●参加者: 計58名

●参加企業:

- ・大分航空ターミナル(グランドハンドリング)
- ・JALスカイ九州(旅客サービス)
- ・エーエスオー(ランプ業務)
- ・全日警(保安検査)
- ・KAFCO(航空機給油) ほか